



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

JPA 09-0983-25

(11) Publication number: **09098325 A**

(43) Date of publication of application: 08.04.97

(51) Int. Cl.

H04N 5/225
H04N 5/907

(21) Application number: 07256487

(22) Date of filing: 03.10.95

(71) Applicant: CANON INC.

(72) Inventor: OGAWARA SATOSHI

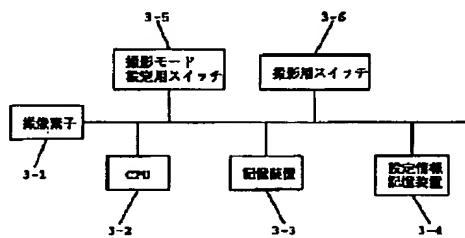
(54) IMAGE PICKUP DEVICE AND IMAGE PROCESSOR

COPYRIGHT: (C)1997 JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To select automatically an application software program suitable for an image in the case of reproducing video data picked up and recorded by a digital camera by means of a computer to process the image.

SOLUTION: A setting information storage device 3-4 stores a table of identification information to identify an application software program suitable for processing of an image picked up in each image pickup mode relating to plural image pickup modes of a camera. Image data picked up in the image pickup mode set by an image pickup mode setting switch 3-5 are recorded in a storage device 3-3 by a CPU 3-2. In this case, the CPU 3-2 acquires the identification information corresponding to the image pickup mode from the table and records it with image data. In the case of processing the image data at reproduction, the application software program based on the identification information is automatically selected and used.



(51) Int. Cl. 6
H04N 5/225
5/907識別記号 序内整理番号
F I
H04N 5/225
5/907F I
H04N 5/225
5/907技術表示箇所
F
B

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平7-256487

(22) 出願日 平成7年(1995)10月3日

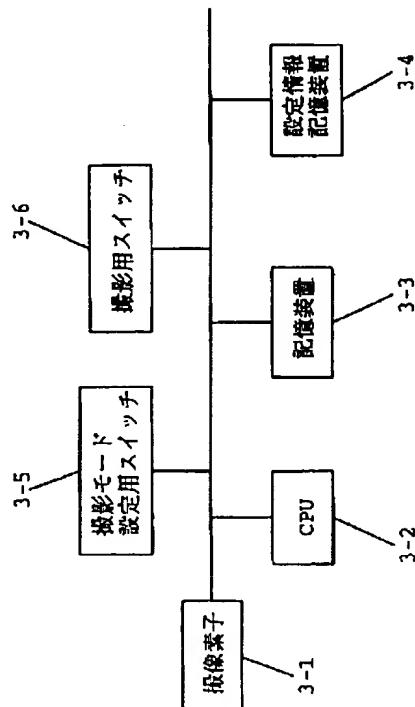
(71) 出願人 000001007
キヤノン株式会社
東京都大田区下丸子3丁目30番2号(72) 発明者 萩原 聰
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内
(74) 代理人 弁理士 國分 孝悦

(54) 【発明の名称】撮像装置及び画像処理装置

(57) 【要約】

【課題】 デジタルカメラで撮像し記録した映像データをコンピュータで再生し画像処理する場合に、その画像に適したアプリケーションソフトを自動的に選択する。

【解決手段】 設定情報記憶装置3-4には、カメラの複数の撮像モードに関連して、各撮像モードで撮像した画像の処理に適したアプリケーションソフトを識別する識別情報のテーブルが格納されている。撮像モード設定スイッチ3-5で設定した撮像モードで撮像した画像データはCPU3-2により記憶装置3-3に記録される。このときCPU3-2は上記テーブルからその撮像モードに対応する識別情報を取得して画像データと共に記録する。再生時に画像データを処理するとき、その識別情報に基づいたアプリケーションソフトが自動的に選択されて用いられる。



るとし、各モード 1、2... 対して再生時に必要な識別情報として再生用アプリケーション・ソフトウェアのファイル名を入れておく。

【0009】図2は設定情報記憶装置3-4上の再生処理手段識別テーブルに記載されたデータの一例を示す。ここでは、モード1(通常撮影モード)の場合は、特別な再生時の処理は必要ないのでファイル名は記載していない。

【0010】図3に撮像時の手順のフローチャートを示す。まず、使用者は撮像時において、撮影モード設定用スイッチ3-5を用いて撮影モードを設定する。そして、撮影を行う場合、使用者が撮影用スイッチ3-6を押すと、処理用CPU3-2はそれを検知して(5-1)撮像素子3-1から画像データを取り込み(5-2)、記憶装置3-3上に記録する(5-3)。次に、処理用CPU3-2は撮影モード設定用スイッチ3-5から現在設定されている撮影モードを取得し(5-4)、設定情報記憶装置3-4の再生処理手段識別テーブルから、設定されている撮影モードに対応する再生処理手段識別情報を取り出して(5-5)、画像データと再生処理手段識別情報とを関連付けて記憶装置3-3上のマップファイル上に記録する(5-6)。

【0011】図4にマップファイル上にデータが収納された様子を示す。このマップファイルには、少なくとも1つもしくは複数の画像データの格納場所情報と、この1つもしくは複数の画像データの再生処理手段識別情報とを含む情報単位を1つの画像データの付帯情報単位とし、複数の付帯情報単位が記録されている。このようなマップファイルを少なくとも1つ用いて記録される画像データの付帯情報を管理するようにしている。

【0012】次に、このデータを画像処理装置において再生し、画像処理を行う場合手順について説明する。図5に再生時の動作のフローチャートを示す。再生時には、まず上記マップファイルを読んでいき、再生可能な画像のリストを作成する(7-2)。そして、リストから再生したい画像データを指定する(7-3)。その時、関連付けて記録された再生処理手段識別情報があればそれも同時に取得する(7-4)。そして、その情報をもとに再生用アプリケーション・ソフトウェアを起動

する(7-5)。起動されたアプリケーション・ソフトウェアに画像データを渡す(7-6)。こうして無事再生が完了する(7-7)。

【0013】なお、本実施の形態では、再生時に必要な再生処理手段識別情報として、再生用アプリケーション・ソフトウェアのファイル名を付与していたが、ファイル名に限らず、例えば処理をライブラリ化したものシェアード・ライブラリとして登録しておき、それを名前で呼び出すといった方法でも良い。

【0014】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、再生時にどのような画像処理を行えば良いかを識別するための識別情報を撮像時に付与しておくことにより、再生時にその付与された識別情報に基づいて自動的に再生処理手段を起動することができる。これによって、画像フォーマットを変更もしくは拡張・追加することなく、使用者がどのような画像処理を行ったらいいかを知らないでも自動的に正しく処理することができる。このため、新しい処理による新規な撮影モードの追加を容易に行うことができるというメリットもある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態を示すブロック図である。

【図2】再生処理手段識別テーブルのデータを示す構成図である。

【図3】撮像時の手順を示すフローチャートである。

【図4】マップファイル上のデータを示す構成図である。

【図5】再生時の手順を示すフローチャートである。

【図6】画像データが標準的なフォーマットでない場合を示す構成図である。

【図7】複数枚の画像を合成して1枚の画像にする場合を示す構成図である。

【符号の説明】

3-1 撮像素子

3-2 処理用CPU

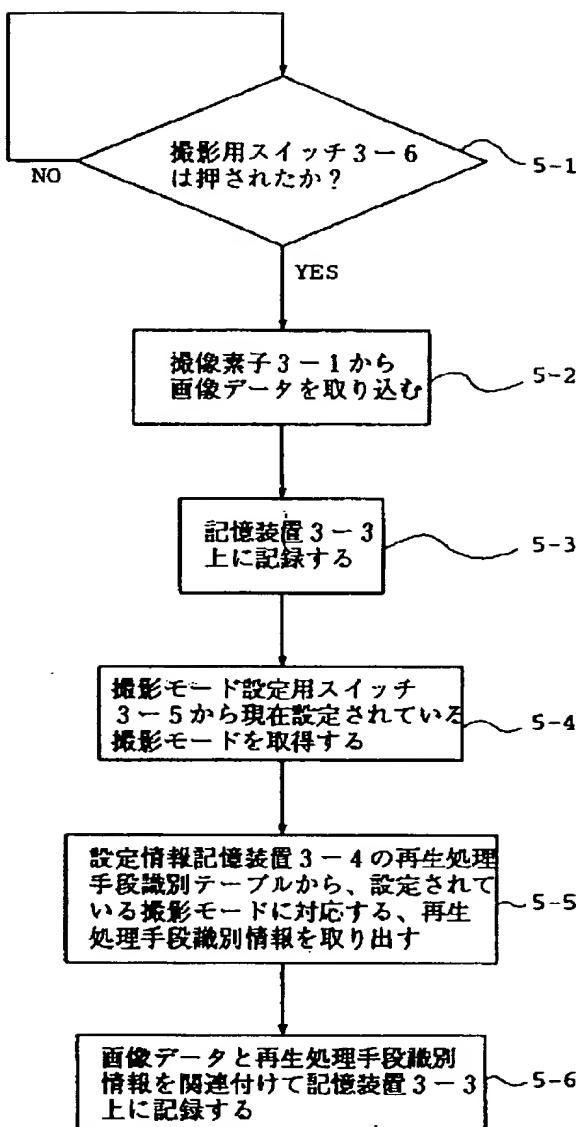
3-3 画像及び関連情報の記憶装置

3-4 再生処理手段識別情報の記憶装置

3-5 撮影モード設定用スイッチ

3-6 撮影用スイッチ

[図3]



[图 6]

